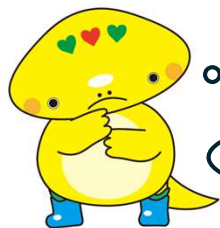


とものんのお悩み相談コーナー

第2弾

今回のお悩みは…



地域の住民さんが、包括から示した新しい方法(認知症カフェ)を受け入れてくれません。もともとよそ者を受け付けない住民気質があります。どうすれば受け入れてもらえるでしょうか。

地域住民との関係を築くことから始めます



話し合いの場を設け丁寧な説明をする



イベントを行って地域の住民の方を招く



自治会や老人会等をまきこむ



無料で招待して宣伝する



高校生や中学生を対象として知ってもらい、そこから地域へ広げていく



地元にある喫茶店の店主に依頼したり、自治会等に根気に頼んでみてはいかがでしょうか？



地域の行事に参加し、交流を図って関係性を築いては？



認知症カフェをやる事のメリットとデメリットを伝える



地域の方限定の無料チケットを配布したり一緒に盛り上げていけるようなアイデアを提案する



焦らず時間をかけて、住民との関係づくりが大切かと思います。認知症カフェに限らず、住民さんの大切にしている事、困っている事に寄り添い関係構築を目指すこと、認知症カフェへの理解を求めていくために、認知症サポーター養成講座をいろいろな場所でやらせていただき、認知症や地域でのつながりに関心のある住民を見つけていく・増やしていく事を優先し、関心が出てきたところで、他地区の認知症カフェを見学しても良いのでは



パンフレット、チケット配布して、一度足を運んで頂いては？



新たな取り組みには、地域特有の雰囲気があります。当施設の取り組み(地域交流カフェオープン、福祉避難所開設等)も地域住民の知名度は低く、困難を要しましたが、市役所や包括を通して施設を知っていただくところからの営業活動+地域行事への参加等で徐々に理解が深まっています。アピールだけでなく、地域活動に参加しつつ施設と自己を知っていただく其自然と興味を示していただけるような気がします



地域住民の中で自治会長等のその地域で影響力のある方との対話をし、活動についての理解や関心をいただくよう働きかける。



まず、どうして受け入れてもらえないかを徹底的に対策していく。意見を取り入れた方法を提案する



他所で開催されているカフェに行ってみると、新たな気づきがあるかもです